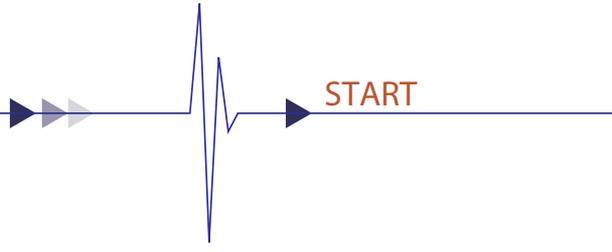




INVESTING GUIDE TAINAN  
台南市企業誘致ガイド



CONTENT

# 目次

01

台南市紹介

p.4



繁栄する古都，科学技術新都市

02

台南歴史発展の概要

p.8



百年の首都，新時代の幕開け

03

生活環境

p.10



グリーンで活気ある、住みやすい都市

04

重点産業への投資

p.14



中核産業と優位性

05

産業園区と開発区

p.20



豊富な資源，国際連携

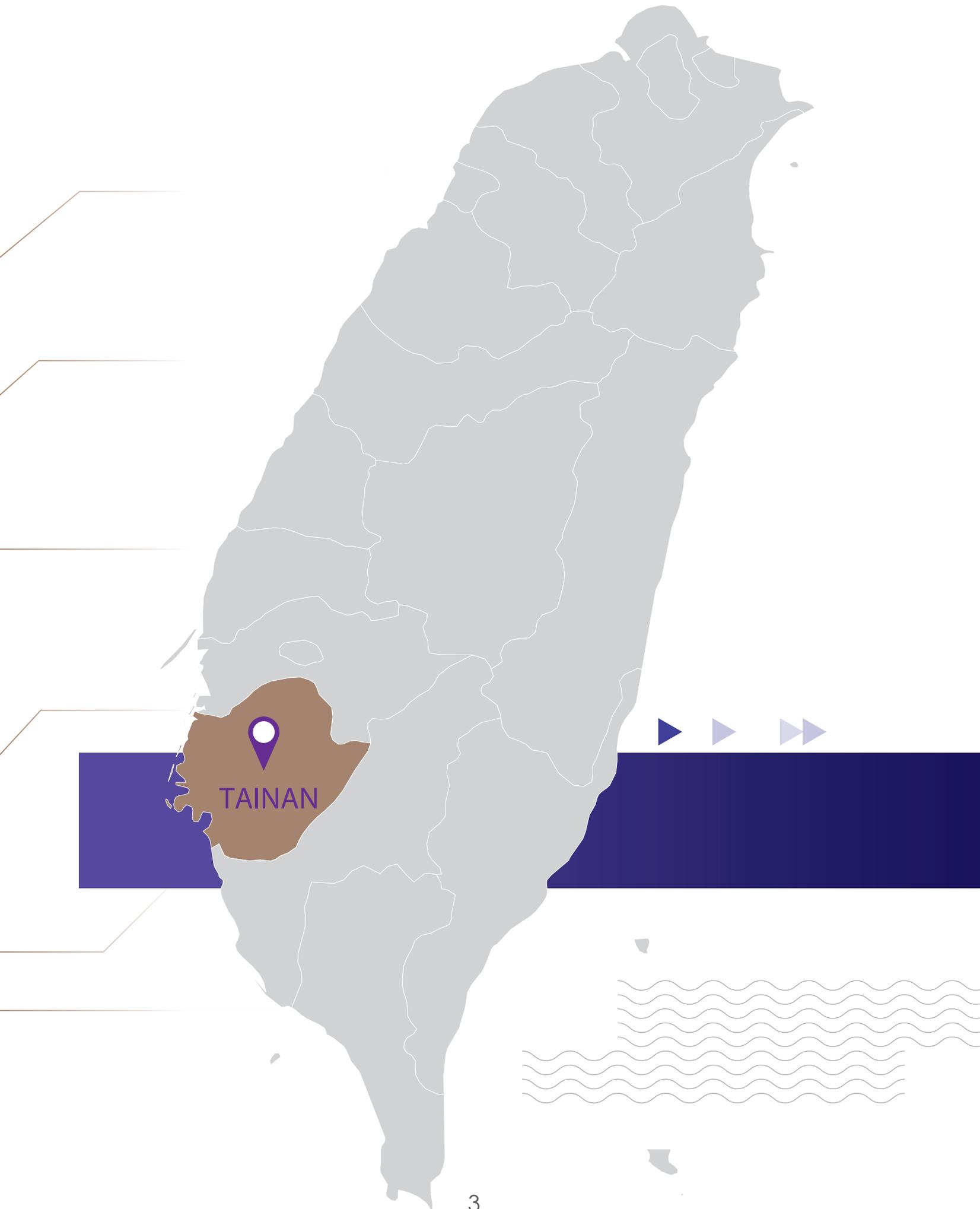
06

投資支援とインセンティブ

p.26



プロジェクト、専任人員&投資支援



南湊ソフトウェア園區

新竹科學園區

台中科學園區

100分以内  
で台湾全土の重要産業園區へ

南部科學園區

沙崙スマートグリーンエネルギー  
サイエンスシティ

**台南**市は台湾の南西部に位置する台湾6大都市の1つで、台湾南部の重要な中核都市の一つです。交通面では、外部への整備された交通網が発達していることより、100分以内に他の5大都市の重要産業園区へアクセス可能です。学術研究能力に関しても、4つの国家級研究機関がここに配置されているだけでなく、毎年2万5千人以上の優秀な人材が育成されており、台南に高い学術研究開発能力と多数のハイテク産業の人材をもたらしています。

## 聯外交通



### 国際空港

市内から台南空港まで車で20分、高雄小港空港まで車で60分、桃園国際空港までは高速鉄道とMRTで130分です。



### 高速鉄道

高速鉄道台南駅があり、1日平均28,000人が利用し、南北を1日以内での生活圏内にしています（台北まで：100分、台中まで：42分、高雄まで：13分）



### 道路

横断4路線、縦断3路線。国道3線（国道1号線、国道3号線、国道8号線、快速道路4線（台61線、台84線、台86線、北外環）



### 港

市内から安平港まで20分、市内から高雄港まで60分



### 鉄道

市内に台湾鉄道17停車駅

# 01 台南市紹介



## 繁栄する古都，科学技術新都市

### 研究機関

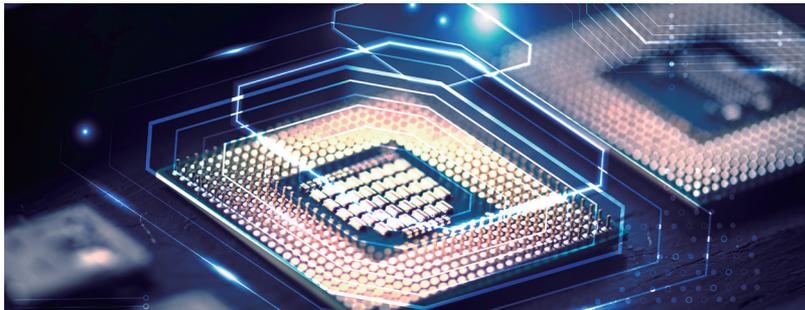
中央研究院、工業技術研究院、国家実験研究院、国家衛生研究院等、国の代表的研究機構があるため、台南には優れた研究開発の人材が集まっています。

### 人材充実

- ・台南市は優れた素質のある人材を抱えており、大学院14校、毎年修士・博士約4,900人を含む。約2万5千人の卒業生を輩出しています。
- ・成功大学は、2025年の英国タイムズ高等教育大学の影響力ランキングで第31位に選ばれており、これは国内第2位です。産学間の技術移転契約額は2009年以降16年連続で1億元を超えています。台湾でこの金額を達成した大学は同校のみです。



台湾の人気観光都市。街の隅々に古都の雰囲気と文化・創造の要素を兼ね備えています。



半導体、グリーンエネルギー、人工知能 (AI) などのハイテク産業により、製造業の生産量は着実に増加しています



総人口  
約 **185 万人**

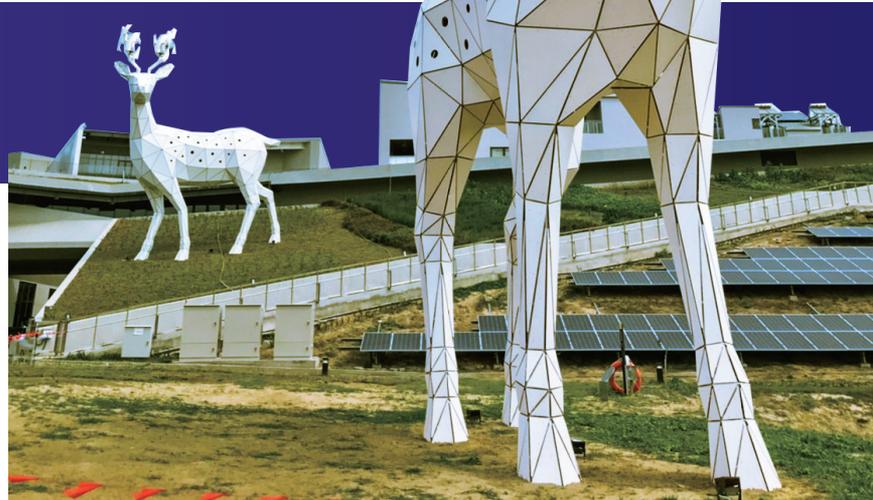


## 台南

は台湾歴史の玄関口であり、多くの文化遺産があります。気候は雨が少なく日照時間が十分にある温暖な気候で、年間日照時間は2,000時間あります。このような気候条件の下、台南市は地球環境の変化に対応した太陽光エネルギーを中核とするグリーンエネルギー技術産業チェーンが発展しており、革新的な研究開発能力と豊富な生産経験を備えた、台湾で最も集中した太陽エネルギー産業クラスターを保有しています。また、台南市には半導体産業など有望な産業クラスターを有しています。その中で、TSMCが台南に進出したことが追い風となり、世界の半導体産業の上流、中流、下流の大手企業が台南に進出するようになりました。

台南を投資先に選んだ企業は、さまざまな有利な投資促進措置を受けることができます。台南は歴史的發展と地理的優位性により、豊かな多様性のある文化と特徴ある建築を創り出し、ユニークな商業地区とグルメを発展させて来ました。

更に、国内初の「スマート路上駐車メーターシステム」、自動運転モデル地域（台南のインテリジェント運転測定試験所）、人工知能産業区などがあり、このような便利な都市整備と国際的文化的力を持つことが、より多くの国際市場としての参入を呼び、大きな未来を掴み取ることに繋がることになります。



### 南台湾ニューシリコンバレー推進計画

台南沙崙を中心として、半導体S回廊の連結、AIを核とした産業エコシステムの構築、AIの産業システムの実現により、あらゆる産業のDX化とカーボンニュートラルを推進します



土地面積  
**2,191** 平方キロメートル



## 1867 航海貿易 時代

1867年の清王朝末期の海上貿易時代に台南安平港が開港し、イギリス東インド会社が台南に徳記洋行社を設立しました。

## 1909 農業輸出 時代

(日本統治期)

日本統治時代の1909年頃の農業輸出時代に日本政府は台湾の財務、経済自立させるために輸出を推進し始めました。最初の輸出製品はサトウキビであったため、台湾製糖株式会社が設立されました。

## 1970年 工業化 啓蒙時代

工業化の時代に入ると、台南は民生物資製造業の発展に力を入れました。これらは食品加工企業（黒橋牌、大成、長城、統一、可果美など）、紡績業（台南紡績）やプラスチック製造業（奇美実業）などです。



chapter 02

# 1978年

## 製造加工業 輸出時代

政府は工業区の設立を促進し始めました。当時設立されたのは台南工業区は、官田工業区、永康工業区、安平工業区等です。

**台南**は台湾で最も長い歴史を持つ都市です。17世紀にオランダ人はここに植民地支配を確立し、現在の安平古堡と赤崁樓を建設しました。18世紀の航海貿易時代に入ると、清政府が台湾を領土に収め、海外貿易発展のために台南に開港しました。その後、19世紀後半、台湾は日中戦争の結果、日本に譲り渡され、日本の統治下になりました。台南では農業輸出を発展させるために農作物の植え付けが行われ、その後、20世紀になると台湾は積極的に工業化を推し進め、台南も民生物資工業区を設立しました。21世紀になると製造業が成熟したため、ハイテク製造を台湾産業の中心に移行しました。政府は、台南に南部サイエンスパークを設立し、半導体、電子機器、通信機器などの多くのハイテク産業を誘致しました。今後は、沙崙を起点として、AI技術の中核とした大南部の産業エコシステムを構築していきます。

# 2001

## 製造 & 研究開発 創新時代

1997年になって。政府は南北発展のバランスを保つため、台南に南部科学工業園区を設立しました。TSMCは翌年（1998年）台南にFab 6工場を設置しました。



# 台南歴史発展の概要

百年の首都，新時代の幕開け



## 市内の便利な交通環境

市内全域を走る国道3号線、国道1号線、台61線西海岸高速道路、および市内を横切る台84線高速道路、国道8号線、北外環道路、台86線高速道路は、横4本、縦3本の便利な道路網を形成しています。7本の主要高速道路と延長された支線は、最西端の海岸から最東端の山腹まで、台南の1時間圏内の生活圏を形成しています。

先進的な交通システム（MRT）の建設が台南の今後の最も重要な交通インフラとなります。MRT建設の推進により、将来的にはMRTと台湾鉄道を基幹とし、市バス、小型黄色バス、公共自転車（YouBike）を補助サービスとして、通勤、通学、観光レジャー、ビジネス、医療などのニーズを満たす高品質で便利な公共交通システムが形成されます。

## 陽光降り注ぐ天気

台南市は、雨が少なく日照時間が長い温暖な気候で、年間日照時間は2,000時間を超え、全国で最も日照時間が長い市です。

## 台湾最大のヨットマリーナ

台湾最大の安平ヨットマリーナでは、海と空、夕日とヨットのリラックスした雰囲気が楽しめ、台南でしか味わえない風景を楽しむことができます。

『台南は、人々が夢を持ち、働き、恋をし、結婚し、ゆったりとした生活を送るのに適した場所』

——台湾の現代作家、葉世涛



100年の古都、台南は豊富な史跡や文化資産、アンティークな路地や伝統的な商業圏があるだけではありません。近年ではハイテク産業の急激な発展に伴い、台南は新技術都市に格上げされ、人口流入が進み、その需要に応えるため、都市建設に多くの資源を投資し続けています。それは、交通、インターネット、教育などのインフラだけでなく、観光、芸術、文化、娯楽などの公共施設を整え「住みやすい都市」を目指します。これは、台南へ移住する人たちへの大きな選択肢となります。



# chapter 03 生活環境

## グリーンで活気ある、住みやすい都市



## 国際志向の教育

台南市内のすべての小中学校でバイリンガル教育が導入されており、そのうち 73 校でバイリンガルコースがあり、週の授業数全体の 3 分の 1 を占めています。また、沙崙中学校は台湾で初めて「K（幼稚園）～12 年生」の沙崙国際中等学校となりました。この学校は沙崙スマートグリーンエネルギーサイエンスシティ近郊に通学する国内外の優秀な子供たちのニーズに応えるためのバイリンガル教育モデルを展開する公立学校です。

## 人材のた環境

台南工業園区に近い安南区、高速鉄道駅指定区の桂仁区、台南南部科学技術園区の新市区、善化区、安定区など、台南の新興地区は、近年の急速な発展に伴い、台南に移住してきた多くの人材の大小さまざまな生活ニーズを満たすため、生活施設を更に充実させています。

## 緑豊かな都市空間

近年、台南市政府は質の高い生活環境を創出するために、積極的に多数の緑地や専用公園を建設してきました。台南市内には 559 の公園緑地があり、その面積は約 847 ヘクタールに及びます。また、51 の特別公園も計画されています。既存の公園の地形や地勢を利用して、地域の特色、包摂性、挑戦性を備えた遊び場を作り、市民の生活の質を向上させています。

## ネットワークインフラ整備

台湾ナショナルスーパーコンピューターセンター（NCHC）が台南で建設する基幹ネットワークは学術界から産業に至るまで台南のデジタル開発をサポートし、効率的なネットワークシステムを形成しています。





## 多様なショッピング街と夜市

海安商業区、国華有愛商業区、花園夜市など、それぞれに特徴のある38の商業区組織と31の認可夜市があり、国華街（地元の食料が集まる場所）、神農街（芸術的な要素を持つ古い路地）、藍晒圈（文化創造な専門店）など、住民にさまざまなレジャーと娯楽の選択肢を提供しています。

## 台湾で最も多くの博物館がある都市

台南には、山上花園水道博物館、左鎮化石公園、噶吧嘰事件紀念園區（タパニー事件紀念園区）、奇美博物館など、57の博物館や地方文化施設があり、数と種類の点で全国最多です。毎年開催される台南博物館フェスティバルでは、一般の人々が様々な博物館を探索することもできます。

## 歴史的建造物

台南市は、国内で最多の一級史跡（安平古堡、赤崁楼、孔子廟、武廟、天后宮、五妃宮、億載金城）を有しています。台南の古跡建築と活気に満ちたイベント活動が古代と現代が交錯している事が、忙しい現代の科学技術の中で過ごしている人々に豊かな人間性、文化意識や新たなエネルギーを注入しています。

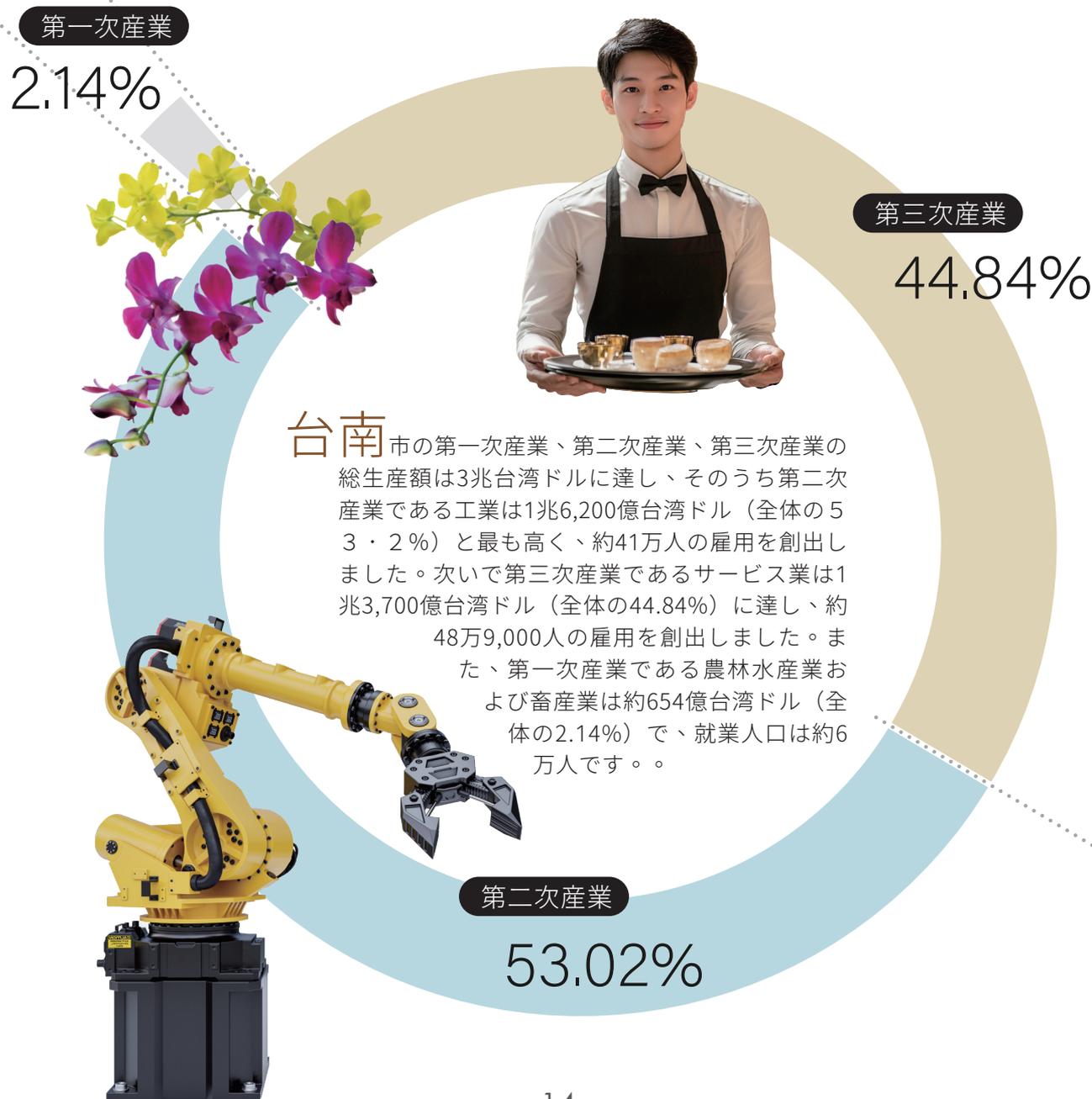
## 斬新設計の芸術文化施設

台南市は、台南美術館、台南市立図書館、台湾南部唯一の国立図書館である国家図書館である「国家図書館南部分館暨国家聯合典藏センター」などの文化芸術施設の建設を継続的に力を入れ行っています。



# chapter 04 重点産業への投資

## 中核産業と優位性





## 第一次産業

年生産額約654億円、6大都市中最大

台南の一次産業の年間生産額は約654億円で、6大都市で第1位です。農業、漁業、畜産など幅広く、生産品目は多岐にわたります。その中でも、パイナップルの年間生産量は全国第2位、蘭花、マンゴー、マスクメロン、火鶴花、楊桃、白蝦、虱目魚、吳郭魚等の生産量は全国第1位です。

また、中央研究院や工業技術研究所などの研究機関があり、台南に専門的な学術的または技術的な人材を提供しています。また、而亞蔬中心(World Vegetable Center)、畜産試験所、水産試験所、台糖研究所、農業改良所は、産業チェーンの中下流における研究開発および試験機関として機能しています。

## 第二次産業

年生産額約1.62兆元、うち製造業は10業種が生産額500億元以上

台南市の第二次産業の年間生産額は約1.62兆円で、製造業全体の生産額は1.1兆元です。そのうち、年間生産額が1,000億元を超える産業は、「食品製造」「基礎金属製造」「金属製品製造」「電子部品製造」など4業種あります。年間生産額が500億～999億元の産業は、「コンピューター・電子製品・光学製品製造」「化学材料・肥料製造」「機械設備製造」「プラスチック製品製造」「自動車・部品製造」「電力設備製造」など6産業あります。台南の各産業を代表する企業は、国内外で業界リーダーとしてよく知られており、その中でも金属製品、自動車部品などはすでに成熟した産業チェーンを築いています。上流と下流の産業クラスターがかなり充実しているため、専門分野における柔軟性と相互信頼性の優位性を備えています。

## 第三次産業

年間生産額約1.37兆元

台南市の第三次産業の年間生産額は約1.37兆円で、製造業の生産額とほぼ同じです。その中でも卸売・小売業は最大のシェアを占めています。また、観光産業は台南の最も重要で繁栄した基幹産業の一つです。台南は台湾で最も人気のある観光都市の一つでもあり、21の観光工場と約900軒のホテルと民宿があります。

# 重要なリーディング産業

## 半導体産業

半導体は近年、台南で最も急速に成長し、最も繁栄している産業です。TSMCのFab 18への投資と、世界最先端の5nmおよび3nmプロセスが台南に拠点を置いているため、ヨーロッパ、米国、日本の多くの大手半導体材料メーカーが台南への投資を増やしています。業界のクラスター効果により、世界中の大手半導体上流、中流、下流メーカーが台南に集まっています。

台南は世界で最も充実した半導体サプライチェーンを有しています。上流のIC設計分野では、世界トップ10のIC設計企業であるMediaTek、Novatek、Realtekがあり、中流では世界トップ5のファウンドリ企業であるTSMC、UMC、また、世界トップ5の装置サプライヤーであるASML、Applied Materials、東京エレクトロン、Lam Research、KLA-Tec、更に半導体材料サプライヤーであるLiseno Semiconductor Materials、Toyo Advanced Technologyなどの外資系企業拠点があります。下流ではパッケージングおよびテスト企業であるChip Microelectronics、Vision Semiconductorなどがあり、これらが世界的な半導体産業クラスターを形成しています。

TSMCの存在は半導体以外の産業にも波及しています。TSMCのサプライヤーにとって、TSMCの近くでサービスを提供し、研究開発でも連携を深めることは、台南への投資の最大の動機となります。そのため、これらのサプライチェーン企業は徐々に投資を拡大し、顧客サービス拠点から工場、R&Dセンター、さらにはトレーニングセンターの設立まで、台南拠点の機能を強化しています。サプライヤーのクラスターは、周辺支援サービスを提供する産業にも影響を与えています。たとえば、物流需要の急増により、外資系物流会社は台南で積極的に土地を探し、物流センターや倉庫センターを計画・建設するようになりました。



## 04 重点産業への投資



## グリーンエネルギー産業

台南は全国で最も日照時間が長い地域であり、太陽光発電産業の発展に適した条件を備えています。現在、台南は太陽光発電設備の設置容量が4.7GWを超え、電力システムも完備された全国No.1の都市です。

台南の太陽光発電産業クラスターは、優れた固有の発展条件と政策的支援のおかげで、順調に発展しており、バッテリーとバッテリーモジュールの製造会社から発電所の設備システムと設置管理を担当する会社まで、すべてが台南に集中しており、多くの国際的に有名な企業の投資を引き付けています

### 臺南市太陽能上中下游産業鏈企業



## 食品製造業

台南の食品製造業は長い歴史により強固な基盤を有しており、食品製造と加工の品質管理に精通した専門家が多くいます。台南の食品製造業の年間生産額は1,668億元で、アジア最大の食品製造会社である統一グループをはじめ、874社もの優秀な食品製造会社が台南に育っていて、成長と利益をもたらしています。



# 主要開発産業



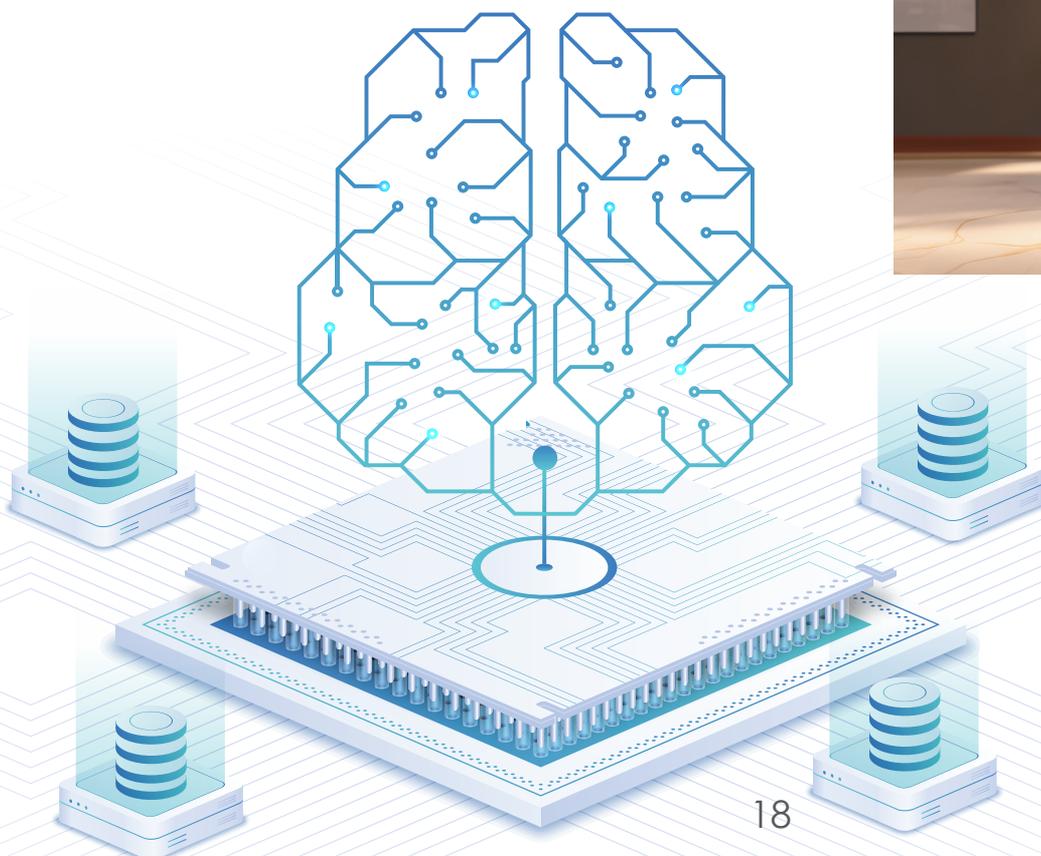
## 人工知能

台南は南部ハイテクS回廊の中心に位置しているため、行政院は2025年1月に「南台湾ニューシリコンバレープログラム」を立ち上げ、AI産業エコシステムを構築し、半導体、ロボット、ドローンなどの産業の発展を推進しています。

台南は国内で最も豊富なグリーン電力を有し、台湾ナショナルスーパーコンピューターセンター(NCHC)は安定した南部基幹ネットワークを提供し、南科(台南科学園区)と沙崙スマートグリーンエネルギーサイエンスシティという両輪が台南を牽引しています。南台湾は最もシリコンウエハ人材のクラスターに恵まれ、グリーン電力、コンピューティング、人材の三大利点を保有していることは真にAI産業の発展に適していると言えるでしょう。

国家科学委員会の「南台湾ニューシリコンバレー」推進計画は、台南市沙崙を中心とし、南台湾半導体S回廊を結び、AIを中核とする産業エコシステムを構築し、業界全体の

デジタル変革と応用を推進し、世界の科学技術産業における台湾の競争力を総合的に強化しています。



## 自動運転車産業

台南市は自動車部品の製造能力が高く、加えて素質のある人材資源と産学官研究クラスターを有しているため、台湾の自動運転車産業の発展にとって重要な拠点となっています。また、台南市には台湾初のクロード自動運転車実証実験施設である臺灣智駕測試實驗室(Taiwan CAR Lab)があり、アジア太平洋地域の複雑な交通環境と特殊な運転習慣を統合した世界初の試験・実験場となることを目指しています。



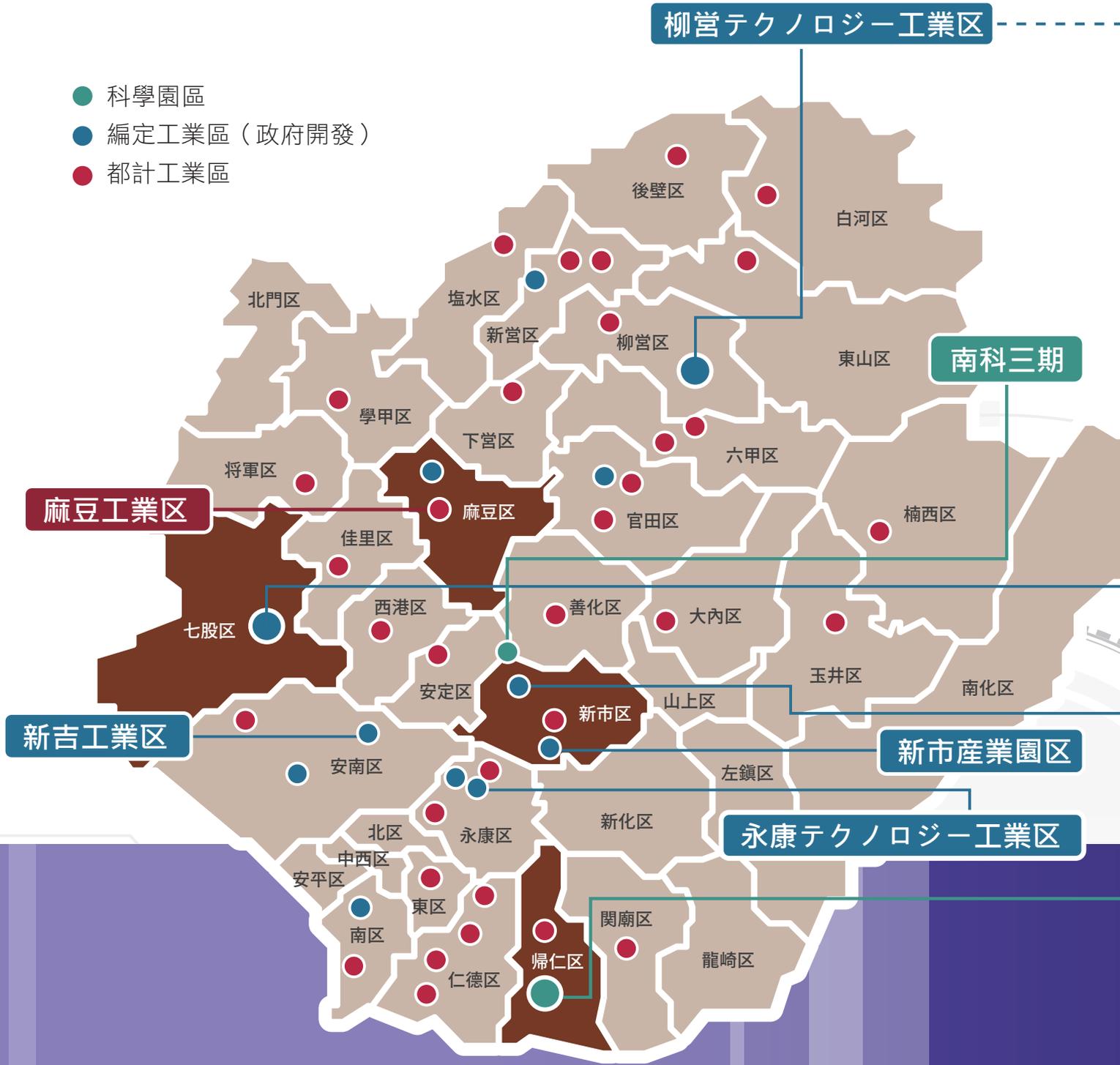
## ロボット産業

台南は半導体、精密機械などの産業に強みを持っていることから、関連する部品組立と自動化ソリューションメーカーはすでにロボット産業クラスターを形成しています。そのため、柳科の第三期が完成すると、ロボット産業チェーンがしっかりと定着することになります。

沙崙スマートグリーンエネルギーサイエンスシティは、産学研の技術を結集し、AI創新応用ビルへの投資誘致を開始しました。このことはロボット産業の発展に大いに貢献することが期待されます。さらに、台南市政府は、ロボット教育中期計画の公布を行いました。内容は教師のロボットサポートプログラムの積極的導入、カリキュラム設計の改善、AIとロボット教育の浸透です。これは台南の学生にとって、将来のAI時代の準備であり、多くの国際化への機会、視野を広げる機会を与えるため支援となります。



- 科學園區
- 編定工業區（政府開發）
- 都計工業區



### 柳科三期

面積/ヘクタール: 87.31 ヘクタール

業種: 電子部品、電力機器、機械設備、自動車及びその部品等

開発スケジュール: 準備中

### 七股科技工業区

面積/ヘクタール: 141.15ヘクタール

業種: プラスチック製品製造業、基礎金属製造業など

開発スケジュール: 募集中

### 南区生態科学園区

面積/ヘクタール: 500ヘクタール

業種: 半導体、AI人工知能、セキュリティ技術、  
ゼロエミッション&未来エネ

開発スケジュール: 準備中

### 樹谷園区

## 05 産業園区と開発区

### 豊富工業区な資源，国際連携

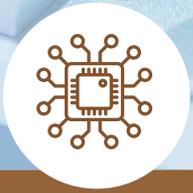
台南市には科学園区(サイエンスパーク)が1か所、政府開発編定工業区\*が14か所、民間開発工業区が28か所、編定工場建設予定地が6か所、都市計画工業団地が34か所あり、これは台湾南部の産業の生命線であり、台湾が世界とつながるための重要な経済基盤となっています。同時に、台南市には5つの重要な産業振興拠点をはじめ、活用できる国家と地方資源も豊富にあります。



## 南区産業クラスター

南区サイエンスパークは台湾の三大サイエンスパークの一つで、その中で台南園區は1,128ヘクタールの面積を占めています。IC産業は、最先端の製造プロセス技術を有しており、国際的にも高い競争力を備えているため、主に先端技術産業と科学技術人材を吸引し、ハイテク産業の発展を促進しています。また、上流、中流、下流のサプライチェーンを完備したハイテク産業クラスターを形成することで、産業の国際競争力を強化しているため、台南園區に主要産業の光電、IC、精密機械などを引き入れてきました。

同園區の投資メリットは、賃料および優遇税制、ワンストップ行政サービス、豊富な研究開発リソースの3点です。南台湾サイエンスパークは、「新興技術応用プログラム」、「サイエンスパーク人材育成補助金プログラム」、「パーク人材育成と産学連携プログラム」などのさまざまなプログラムを通じて、園區内の製造業と学術研究機関の協力を促進し、台南地域と融合して南台湾の産業発展の中核となることを目指しています。



## 半導体産業 クラスター

台南工業園区の半導体産業クラスターは非常に充実しています。TSMCやUMCなどの前工程ファウンドリメーカーの牽引により、この園区はCMP研磨液や石英チューブメーカーなどの前工程材料サプライヤーや、後工程のパッケージングテストおよび機器サプライヤーを誘致しています。TSMCは台南園区への投資を継続しており、3nmおよび5nmの12インチFabが量産段階に入り、南部サイエンスパークは優れた半導体メーカーが集積する場所となり、世界最先端のプロセスが集まる地域となっています。



## 光電産業 クラスター

臺台南園区は、国内のTFT-LCD産業の垂直統合が最も整っている地域です。垂直統合の観点では、上流のガラス基板、液晶材料、タッチスクリーンLCDディスプレイ、輝度向上フィルムおよびプリズム、偏光板、光マスク、バックライトモジュール、などの主要部品から中流のパネル、下流のLCD TVメーカーまで網羅しています。台湾がフラットパネルディスプレイ業界で世界的なリーダーを目指す中、台南園区は今後も重要な役割を果たし続けるでしょう。



## 精密機械産業 クラスター

台南園区における精密機械産業の発展は、大手半導体・光電子メーカーの設備投資によるもので、産業チェーンの集積効果をもたらしています。現在、国内外の多くの設備メーカーが自動化や検査設備を供給するために台南園区に進出しています。このことも、より多くの投資家や精密機械メーカーが台南園区に参入する誘因となっています。

## 沙崙スマート グリーンエネルギーサイエ ンスシティ

台南高速鉄道駅のハブとして位置する沙崙スマートグリーンエネルギーサイエンスシティは、学術研究（サイバーセキュリティ、グリーンエネルギー、スマートシステム）、バイオテクノロジー、医療産業を展開するだけでなく、多くの研究開発リソースと生活機能を提供しています。「研究開発・参入・普及」を通して発展し、地域を活性化し、南部グリーンエネルギー技術産業クラスターを牽引しています。現在、中央研究院南部キャンパス、国家科学委員会サイバーセキュリティ・スマートテクノロジー研究開発ビル、経済部のグリーンエネルギー技術実証場などの主要な建設プロジェクトが進行中です。また、台南が有する研究機構である国立成功大学の知恵半導体・持続可能製造学院(Academy of Innovative Semiconductor and Sustainable Manufacturing)、国家科学委員会の台湾半導体研究センター、国家高速ネットワーク・コンピューティングセンターなど、台南の既存の学術研究機関は、南部サイエンスパークと相互に補完し合い、産業を誘致してクラスターを形成するだけでなく、台南の科学技術産業の発展の基礎を築いています。

## 産業推進分野



## 人工知能 産業特区

台湾初の人工知能産業特区が台南高速鉄道特区に設立され、AIの産業化と産業のAI化を推進しています。沙崙を皮切りに、AIはあらゆる産業と分野の発展に応用され、台湾を「人工知能の島」にするというビジョンを実現したいと思っています。



## 大台南コンベンションセンター (ICC台南)

大台南コンベンションセンターは台南高速鉄道駅の隣にあります。産業界の交流のプラットフォームで、市の窓口として機能する近代的なコンベンション展示センターです。地元産業の販売とマーケティング、並びに国内外の産業技術とビジネス交流の機会の拡大、そして経済全体の発展の推進に活用されています。

## Win Win 創新育成基地

台南は新産業を創新する場所です。台南の産学研究的エネルギーを結集し、新しいスタートアップチームを支援し、マッチングサービスや起業指導リソースを提供し、起業に興味のある若者が実践し成長するための拠点となっています。Win Win 創新育成基地には、4~6人の新規スタートアップチームを収容できるオフィス、共有ワークスペース、20人規模の研修室など合計7つのスペースがあります。チームが製品のプロモーションや撮影に使用できるライブ放送用写真スタジオもあります。各フロアには皆の交流スペースが設けられています。また、ここでは起業関連講座やワークショップなどの活動も継続して開催され、海外に移住して故郷に戻り起業する若者たちに満足できるサービスと起業の場を提供しています



## 台湾インテリジェント運転試験研究所

台湾は交通環境が非常に複雑ですが、台南には自動車部品の製造業と質の高い人材を備えています。このような交通環境と産業サプライチェーンの下で発展する自動運転車産業は、他の国々と比べて、より多くの機会と競争力を持つことになります。当研究所では、自動運転車のテストや運行操作のデモンストレーション、製品のテストや展示、一般市民の体験があるため、人々の知識教育に役立っています。研究開発の面では、台湾CARラボでは、自動運転技術の確立が期待されており、学術と研究の向上を促し、人材育成と応用、サービスの整備されたシステムを構築することが期待されています。

## 投資ワンストップ窓口

投資商務科は、企業の投資事業の企画・推進、投資環境の紹介、国内外の企業投資促進活動や会議の開催、企業への投資関連サポートの提供、投資障壁除去などの支援を行います。

住所：台南市安平区永華路二段6号3階

電話：0800-067-795

台南市政府経済発展局：  
<https://economic.tainan.gov.tw/>

台南市投資ウェブサイト：  
[invest.tainan.gov.tw/](http://invest.tainan.gov.tw/)  
E-mail：investtainan@mail.tainan.gov.tw

## 投資サービス

### 投資会報、迅速で効率的サービス

台南には独自の「重大投資会報」会議があります。台南への投資に際して、市政府は「専属の人員」、「専属の責任」、「専属のプロジェクト」のサービスを提供します。この会議は市長が定期的に議長を務め、さまざまな関連局間の緊密な横連絡調整を図り、製造業者の投資の加速化を支援します。

台南市は、台商の回帰投資を全力で支援し、政府機関間の調整と統合、企業登録、オンライン申請、その他のモバイル決済のワンストップサービス、複数の決済情報システムの提供を行っています。市民の利便性を促進すると共に、積極的かつ効率的な投資環境を創出し、若者のための目に見える未来を創造します。

### 質の高い環境、経済歯車の回転

台南への投資を勢いづけるため、引き続き法制度の緩和を推進し、投資障壁を取り除き、健全な投資環境を整えていきます。公共建設工事を加速する際にも、投資に際して直面する土地、労働力、水、電力、専門人材などの問題にも積極的に取り組み、産業経営のボトルネックを解消し、投資家の信頼を高め、経済全体の成長を活性化します。



chapter 06

## 投資インセンティブ

### 台南市地方型SBIR

中小企業による産業技術・製品の創新的研究を奨励し、地元メーカーに創新・研究開発補助金を提供し、台南市の中小企業の産業競争力の向上を加速し、産業の発展を促進する。1件あたりの補助金上限額は100万元、共同研究開発案件の補助金上限額は200万元、テーマ別提携の補助金上限額は500万元です。

### 台南市科学技術と新創産業の発展促進の自治条例

グリーンエネルギー産業、バイオテクノロジー産業、デジタルテクノロジー産業、ファッション産業、会議・展示産業、その他の文化創造産業、または所管当局が承認したその他のテクノロジー産業や新興産業に対する固定資産税、地価税、不動産賃貸料、職業訓練費、技術開発または革新的サービス研究開発プロジェクトにおいて、投資家に優遇措置または補助金を提供します。

### 台南市政府青年起業・中小企業信用保証融資プロジェクト

市内の中小企業の経済体力を強化し、中小企業に運転資金を提供するため、中小企業信用保証基金と協力し、融資額の増額や開始に取り組み、若者や企業が資金調達し、創新と発展の機会を獲得できるよう支援し、市の繁栄と成長を促進し、経済発展を推進します。

## 主要投資企業

TSMC/UMC/ASML/Garmin/Applied Materials/Colin R&D/東京エレクトロン/Liseno Semiconductor Materials/富士電子材料/AMD/Micron など。

## 製造業協進会 コミュニケーションチャネル活用

台南市は既存の22の製造業協進会、加えて南科同業公会など、地域の製造業者との橋渡し役として、良好なコミュニケーションチャネルを確立し、製造業者間の連絡、計画、組織機能を強化し、工業区内の製造業者間の交流を効果的に活性化し、工業区全体の発展を促進しています。

| 編號 | 名稱              | 編號 | 名稱             |
|----|-----------------|----|----------------|
| 1  | 台南市官田工業区製造業協進会  | 12 | 山上工業区製造業協進会    |
| 2  | 台南市新營産業園区製造業協進会 | 13 | 柳營科技環保園区製造業協進会 |
| 3  | 台南市中崙工業区製造業協進会  | 14 | 仁德工業区製造業協進会    |
| 4  | 台南市佳里工業区管理会     | 15 | 新市工業区管理發展協會    |
| 5  | 社団法人台南市保安工業区管理会 | 16 | 後壁工業区製造業協進会    |
| 6  | 台南市亞太工業区發展協會    | 17 | 新田工業区製造業協進会    |
| 7  | 台南産業園区製造業協進会    | 18 | 永康科技工業区製造業協進会  |
| 8  | 安平産業園区製造業連合協進会  | 19 | 灣裡工業区製造業協進会    |
| 9  | 和順工業区製造業協進会     | 20 | 麻豆工業区製造業協進会    |
| 10 | 總頭寮工業区製造業協進会    | 21 | 新吉工業区製造業協進会    |
| 11 | 台南市永康工業区製造業協進会  | 22 | 樹谷園区製造業協進会     |

# 投資支援とインセンティブ

## プロジェクト,専任人員&投資支援

### イノベーション・ボード

政府は、創新力のある小規模企業を支援し、融資や指導サービスを提供するため、台湾証券取引所と協力して、台湾証券取引所イノベーションボードに参加する優良メーカーを発掘・推薦しています。「台南市政府が始動する『イノベーションボード』プロジェクト支援審査会議」が不定期に開催され、審査に合格した

### 台南市工業団地立体化更新開発計画

民間投資の発展と産業発展を加速するため、容積率引き上げを活用して、既存の都市計画工業区の産業の利用率向上へと誘導し、革新産業の発展に必要な土地容積を提供し、国内投資の勢いを高め、産業付加価値の創造を促進します。

### 会議・展示会開催メーカーへの報奨及び海外・市内展示会参加の補助金支給

各業界が市内で会議や展示会を開催することを奨励し、市内の産業、技術、特産品などを融合し、展示会関連産業の発展を推進し、市内の潜在力のある創新企業が自社の高品質製品を販売し、国際市場に成功裏に参入して市場の幅を広げることを支援する

